



鬼久保二郎 議員
(市民クラブ)

問 市財政の今後の見通しは

小・中学校へのエアコン設置、生涯学習施設（こもれびの森）の完成など、市民サービスは一步一步前進してきたが、今後、スピード感を持ったまちづくりのための税収の増加見込みはあるか。また、都市計画税の変更を考えるとはいかがか。

答 長期的視点に立って検討していく

市の財政状況は、社会保障関連経費などの増加により、硬直化が予想される。歳入確保や事業の選択と集中を図り、財政基盤の強化に努める。都市計画税の税率見直しは、今後の都市計画事業などの進捗状況などを踏まえながら、長期的視点に立って検討していく。

問 総合運動公園の利用状況は

総合運動公園は、老若男女、そして市民や他市町村の人々にスポーツやグラウンドゴルフ、市民マラソンなどに使用されている。9年に供用開始されたが、幼児や高齢者が利用する場が少ない。公園の一部では、樹木が成長し暗く、今後、施設の改善の考えは。

答 多くの市民にご利用いただけるように

供用開始以来、スポーツ・レクリエーション活動の中核施設として、多くの市民にご利用いただいている。施設の老朽化が進行していることから、利用者の安全性の確保を優先しつつ、施設の維持管理や設備の充実が図られるよう計画的に改修を進めていきたい。



高木隆三 議員
(公明党)

問 下水道整備(合併浄化槽)の普及を

浄化槽の機能を発揮するには、法定検査の保守点検が必要である。行わないと水質が悪化し、悪臭や汚物が流れ出し、地域の水環境に影響を与える原因となる。維持管理をしていないために、悪臭などに悩まされている市民から相談もある。当市の現状と取組は。

答 適正な維持管理などに向け周知していく

浄化槽は、適正な維持管理を行わないと、生活雑排水などが公共用水域に放流され、悪臭などの原因となる。市の取組として、原因者に対して、職員による個別訪問や郵送などでチラシを配布し、適正な維持管理などについて周知している。

問 ふるさと納税に「みまもりサービス」を

返礼品競争が過熱し、総務省は大臣通知で高額返礼品の自粛を要請した。従わなくても罰則がないため、違反自治体に寄附した場合は、税制優遇が受けられなくなる、と政府が決定した。高齢化が進む中、人的サービス「みまもりサービス」を導入したらどうか。

答 実施に向けて前向きに検討していく

みまもりサービスは、少子高齢化の進展や家族形態の変化による高齢者の一人暮らしといった地域課題解決の一助となるものと認識している。寄附者、サービス受給者、事業者、市の4者にとって良いものとなるようにふるさと納税返礼品としての形を整えていく。

